

# 令和4年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

上尾市水道事業では、来たる大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、日常的に大規模災害を想定した各種講習会や訓練を重ねることで、災害時に迅速な対応ができる職員を育成しています。

今回の活動報告では令和4年11月、12月に行った訓練の内容について報告します。

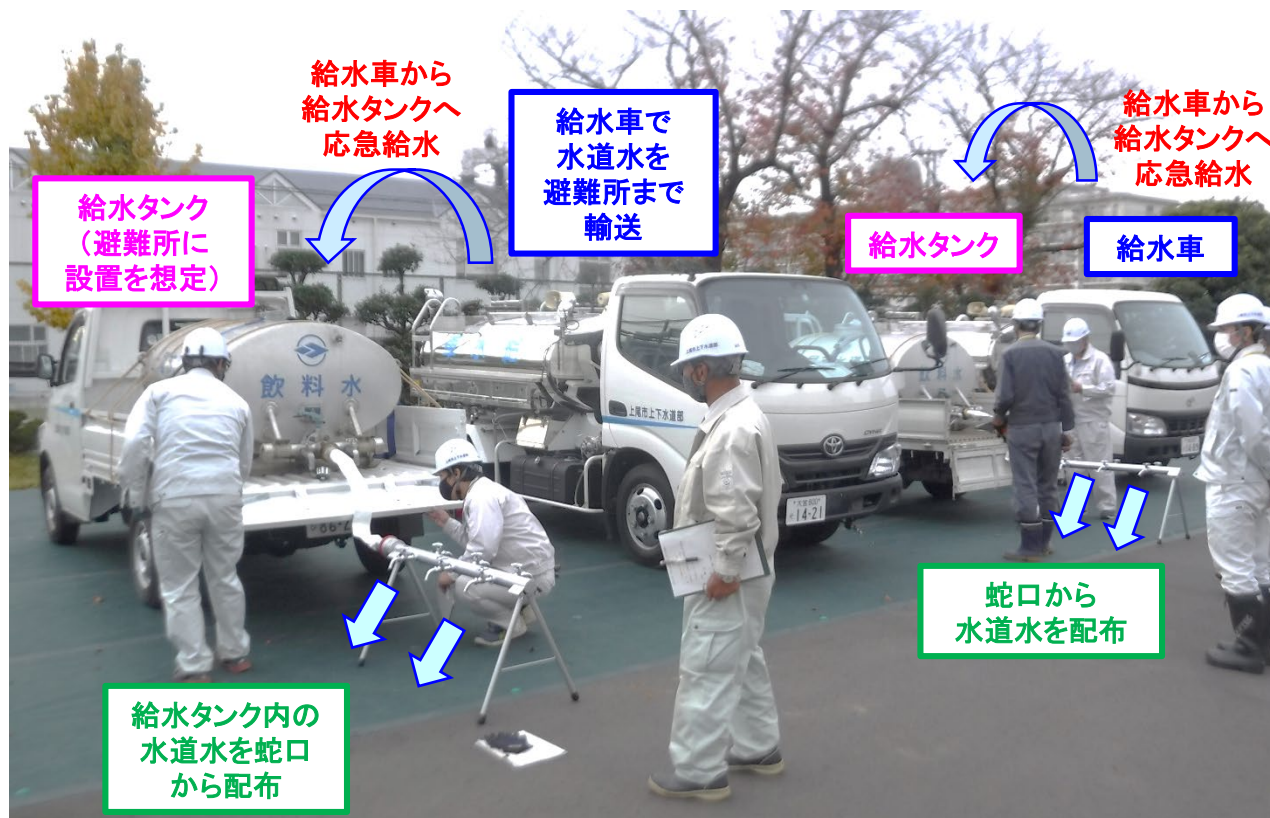
## 「給水車」による応急給水訓練を実施しました

令和4年11月17日(木)及び12月1日(木)に給水車を活用した応急給水訓練を実施いたしました。

給水車を活用した応急給水訓練は今年度2回目となりますが、今回は給水車(※)に水道水を入れて避難所(想定)まで輸送し、避難所に設置した給水タンク内に、給水車から水道水を圧送する応急給水訓練を行いました。これは有事の際、市民の皆さんの元へ速やかに水道水を補給するための訓練となります。

総勢18名(9組)の実動班員が訓練に参加しました。訓練状況については次頁をご参照ください。

(※)上尾市では、給水車を2台(2,000ℓ級1台・1,800ℓ級1台)保有しています。





《給水車を水源(消火栓)まで移動》



《水源(消火栓)から給水車タンク内に給水》



《給水車を避難所(想定)まで移動》



《給水車から給水タンクへ応急給水(圧送)》

## 事故を想定した「管洗浄(実技)」訓練を実施しました

令和4年11月10日(木)及び12月8日(木)に、**管洗浄(実技)訓練**を実施いたしました。反復して実技訓練を実施することで、職員の「技術力の向上と定着」を図り、仕切弁操作感覚の共有を行います。これによって、有事の際に「迅速に行動できる即応力」を身につけます。また、一度の訓練で仕切弁操作及び交通誘導に従事する人数を徐々に減らし、少ない人数でも現場対応ができるよう訓練を行っています。

管洗浄(実技)訓練では、上尾市内の交差点で発生した水道管損傷事故を想定し、訓練を実施しています。まず、漏水している管路周辺の仕切弁を閉め、止水します。その後、修繕工事によって復旧された管路への通水及び洗浄を迅速に行います。災害や事故時などに、安心・安全な水道水を一刻も早く市民の皆さんへ供給するため、訓練を重ねています。



《事前ミーティングで作業内容確認》 《交通誘導員を配置し、安全第一に作業開始》



《指揮者の作業指示のもと、各仕切弁操作者が的確に仕切弁の開閉操作を実施》

# 大規模漏水を想定した「管洗浄」方法を検討しました

令和4年12月15日(木)に、大規模漏水が発生したケースを想定し、「管洗浄」の方法について机上で検討いたしました。

水道管が大きく損傷して大規模な漏水が発生した場合、水道管内部の水の流れ(流速や流向)が著しく変化し、管内の水道水に濁りが生じる可能性があります。水道管内の適切な洗浄作業が遅れてしまうと、濁りの範囲が広がり、深刻な水質事故に繋がってしまうため、管内の濁り水を迅速かつ適切に排水する「管洗浄」を行うことが重要です。



《グループディスカッション、発表の様子》



《講師による解説》

次回は令和5年1月、2月の活動内容を掲載する予定です。